

第 45 回

全国消防救助技術大会



魂
ORANGE IMPACT



主催／一般財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会



魂

～ORANGE IMPACT～

2016年8月24日（水）

会場 松山中央公園 【陸上】 運動広場

【水上】 アクアパレットまつやま

全国の消防救助隊員が集い、力を集結して人命救助に立ち向かう思いを発信するため、『魂～ORANGE IMPACT～』をスローガンに第四五回全国消防救助技術大会を、多くの来賓と市民をお迎えし盛大に挙行了しました。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素の錬磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しており四五回を数えるに至りました。

昭和四十七年に第一回大会が東京で開催されて以来、四十四年の時を経てはじめて瀬戸内海を渡り、四国の地、松山市での大会開催となりました。松山市は、日本最古の名湯といわれる道後温泉をはじめとする温泉や、近代俳句の礎を築いた正岡子規の存在などもあり『いで湯と城と文学のまち』と言われるほど文化的魅力が豊富で、市内中心部の山頂にそびえ立つ松山城を囲むように路面電車が走り、麓に広がる街には城下町の文化が息づいています。その美しい城下町には繁華街や官公街が広がっており、市役所や商店街の所々に全国消防救助技術大会の垂れ幕やポスター等が貼りだされ、松山市消防局だけではなく、松山市全体として本大会を盛り上げる取り組みがなされていました。

さて、大会当日は、台風九号の接近や台風一一号の影響により東北地区、北海道からの参加も危ぶまれましたが、参加隊員一同が会場に集結し、雲ひとつない好天にも恵まれ、会場は一般見学者や消防関係者など約三〇、〇〇〇名で埋め尽くされました。

午前八時四〇分、オープニングセレモニーとして『坊っちゃん劇場』が披露されると会場は大きな拍手で包まれました。午前八時五五分、消防団音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九二五名の精鋭たちが堂々と入場し、上空には消防防災ヘリ三機が飛行する演出もあり、開催地消防長である芳野松山市消防局長の開会宣言で大会の幕は開きました。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げました。続いて国旗・大会旗掲揚の後、大会会長である高橋全国消防協会会長のあいさつ、開催地である野志松山市長のあいさつ、原田総務副大臣、秋本日本消防協会会長、中村愛媛県知事、雲峰市議会議員長の祝辞と続き、大会審判長の川本北九州市消防局長による審判長指示が行われました。その後、出場隊員を代表して松山市消防局の片岡隊員が力強く隊員宣誓を行いました。

開会式が終わると、『特殊環境下における陽圧式化学防護服を着装した救助活動』をテーマに技術訓練が行われ、続い

て行われたオープニングアトラクションでは、エグザイルプロフェッショナルジム松山校の生徒の皆さんによる華やかで素晴らしいダンスパフォーマンスが披露され会場は大いに盛り上がりました。

いよいよ競技の幕開け、厳しい地区大会を勝ち抜いた精鋭たちの眼光是鋭さを増し、競技に臨みます。人命救助のプロとしての誇りと絶対には負けない救助魂を胸に、陸上の部では、猛暑にも屈せず、あきらめない強い気持ちと仲間を信じ救助に立ち向う姿、水上の部では、鍛え抜かれた屈強な体で磨き抜かれた救助技術を次々と披露し、最後まで助け抜くという泳ぎは、多くの人々へ感動を与えました。大会のスローガンでもある『ORANGE』が与える温もりを、ORANGE色の救助服を纏った隊員たちから感じることができ、その姿は本年四月に発災した『平成二八年熊本地震』で被災された方々へ、メッセージとして伝えているように見受けられ、観覧席からは歓声や激励、また消防に寄せる期待の拍手が鳴り止みませんでした。

競技の締めくくりは、技術訓練。大分市消防局が「酸素欠乏時の低所救助活動」をテーマに、水上の部では呉市消防局が「状況変化に対応した救助活動」をテーマに、創意工夫を凝らした救助技術を披露しました。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しも、細部にわたるまで吸収しようとする姿が感じられました。

また、本大会と同時に開催した市民イベントでは、広大な訓練会場を有効に活用し、防災体験ブースや消防車試乗体験などの体験プログラムが実施され、参加された親子からは、防災体験イベントを通じて楽しみながら防災を知ることができ、防災に対する関心が高まったという声が多く聞かれ、防災意識の向上に繋がる大きな成果となりました。

閉会式では、各団体の入賞者を高橋大会会長が表彰し、「日頃鍛えた気力、体力、そして磨き上げた救助技術を遺憾なく発揮し、素晴らしい成果をおさめられました。本大会で示された優れた消防救助技術が将来にわたり永く伝承されていくことを期待しています。参加隊員の皆さんには、消防救助技術の更なる向上に努めるとともに、本日までの訓練成果を災害現場でも十分に発揮し、地域住民の負託に一層応えるようお願いいたします。」との講評がありました。

国旗降納に続いて、大会旗が芳野松山市消防局長から次期開催地の栗村仙台市消防局長に引き継がれ、栗村仙台市消防局長が次期開催地としてあいさつしました。最後に、芳野松山市消防局長が閉会を宣言し、第四五回全国消防救助技術大会は幕を下ろしました。

残暑が続く中、松山市消防局の皆様をはじめ、大会運営にあたられた全ての皆様に対し、心より感謝申し上げます。



挨拶

一般財団法人全国消防協会

会長 高橋 淳

第四五回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙のところ、原田総務副大臣、青木消防庁長官、秋本日本消防協会会長、また、御当地からは中村愛媛県知事、雲峰松山市議会議長をはじめ多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを心から御礼申し上げます。

さて、我が国の消防救助技術は、各種資機材等の改良・開発はもとより、隊員の皆さんの救助に対する熱意とたゆまぬ努力により着実に発展を遂げ、国内のみならず海外において発生した大規模災害にも国際消防救助隊として派遣され、懸命な救助活動を実施するなど、海外からも高い評価を得ているところであります。

本年四月に発生した『平成二八年熊本地震』では、緊急消防援助隊が早期に出勤し、余震が続く厳しい環境の中、救助・救急を中心として懸命な活動が展開されました。

また、台風九号、一一号によっても大きな被害の発生したところであり、このような自然災害の発生に対し、我々消防の役割は、より一層重要になっております。

こうした状況の中、本協会といたしましては、地域住民が消防に寄せる期待に力強く応えられますよう、全国の消防職員の知識・技術・活動能力の向上のために、今後も積極的に支援をさせていただきます。

本日の救助大会に臨み、参加隊の皆様におかれましては、安全管理に十分配慮され、これまでの訓練成果を存分に発揮し、それぞれの目標を達成されますことを切に期待しております。

また、隊員の皆さんはもとより大会関係者におかれましても体調管理には十分気をつけられるようお願いいたします。

結びに、本大会の開催にあたり、格別のご支援・ご協力を賜りました野志松山市長をはじめ松山市御当局の皆様、松山市消防局の芳野局長、大会運営にあられる職員の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、ご列席の皆様、ご来場の皆様のますますのご健勝を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



祝辞
愛媛県知事
中村 時 広



祝辞
日本消防協会会長
秋本 敏 文



祝辞
総務副大臣
原田 憲 治



挨拶
松山市長
野志 克 仁



次期開催地あいさつ
仙台市消防局長
栗村 渉



審判長指示
北九州市消防局長
川本 一 雄



開会宣言・閉会宣言
松山市消防局長
芳野 浩 三




祝辞
松山市会議長
雲峰 広 行

陸上の部

ロープブリッジ渡過 (基礎訓練)



AR 

水平に展張された渡過ロープ(二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間 一八秒】

表彰者

- 【北海道】**
北留萌消防組合消防本部 阿部 拓夢
室蘭市消防本部 脇 将太郎
釧路北部消防事務組合消防本部 菊地 一世
- 【東北】**
五所川原地区消防事務組合消防本部 長尾 崇史

- 【関東】**
北秋田市消防本部 佐藤 光世
魚沼市消防本部 下村 祐貴
伊達地方消防組合消防本部 佐藤 秀和
大船渡地区消防組合消防本部 山田 隆一
西村山広域行政事務組合消防本部 鈴木 脩祐
遠藤 将貴
- 【近畿】**
大津市消防局 神宮司直也
南但消防本部 森川 智久
- 【四国】**
松山市消防局 小本 智新
東温市消防本部 大工園 諭
小豆地区消防本部 来 拓磨
海部消防組合消防本部 和佐 徳大
南国市消防本部 高芝 隼人
- 【中国】**
大田市消防本部 藤田 知大
光地区消防組合消防本部 田中 慎也
東広島市消防局 福馬 元氣
鳥取中部ひるさと広域連合消防局 谷本 靖彦
倉敷市消防局 田邊 直也
- 【九州】**
鹿児島市消防局 川元 翼
- 【東海】**
静岡市消防局 大塚 栄治
稲敷広域消防本部 小原 雄大
足利市消防本部 角田 将之
八千代市消防本部 佐藤 健人
埼玉西部消防局 大井 泰宏
東京消防庁 清水 健太郎
太田市消防本部 渡辺 和幸
富士五湖広域行政事務組合 渡辺 和幸
- 【東近畿】**
福井市消防局 大杉 理樹
砺波地域消防組合消防本部 菊地 悠平
白山野々市広域消防本部 嶋中 辰起
有田川町消防本部 小林 俊隆
- 【東海】**
岐阜市消防本部 下野 潤樹
西尾市消防本部 宮地 哲矢
西尾市消防本部 宮地 佑宜
- 【近畿】**
奈良県広域消防組合消防本部 三田村 亮太
大津市消防局 軽沢 満
- 【四国】**
徳島市消防局 神宮司直也
高松市消防局 森川 智久
- 【九州】**
大牟田市消防局 小本 智新
東温市消防本部 大工園 諭
小豆地区消防本部 来 拓磨
海部消防組合消防本部 和佐 徳大
南国市消防本部 高芝 隼人

はしご登はん (基礎訓練)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間 一四秒】

表彰者

- 【北海道】**
富良野広域連合消防本部 本多 佑生
- 【東北】**
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 須賀川地方広域消防本部 須賀川 一希
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 大曲 石橋 陵
石巻地区広域行政事務組合消防本部 滝沢 清栄
- 【関東】**
長岡市消防本部 吉野 佑紀
遠野市消防本部 齋藤 太尊
東根市消防本部 小水内 晶紘
阿部 健司
- 【東海】**
富士五湖広域行政事務組合 渡辺 信嘉
さいたま市消防局 加増 祐輔

- 【東近畿】**
津幡町消防本部 河内 孝志
宇治市消防本部 小田 康之
湖南広域消防局 宮崎 昇
和歌山市消防局 中堀 誠也
奈良県広域消防組合消防本部 森本 昌也
若狭消防組合消防本部 岩崎 秀哉
- 【近畿】**
姫路市消防局 金谷 啓佑
- 【中国】**
鳥取県東部広域行政管理組合消防局 居組 純輝
広島市消防局 山田 志朗
雲南広域連合雲南消防本部 石飛 雄士
柳井地区広域消防本部 筑坂 祐樹
真庭市消防本部 北川 雄己
- 【四国】**
大洲地区広域消防事務組合消防本部 別宮 飛鳥 成
坂出市消防本部 森 河野 大輝
名西消防組合消防本部 森 和佐
土佐清水市消防本部 森 和佐
- 【九州】**
阿久根地区消防組合消防本部 前田 真
唐津市消防本部 前田 将伸
豊後大野市消防本部 田代 成幸
那覇市消防局 新垣 卓也
久留米広域消防本部 大鶴 卓也
- 【東海】**
多治見市消防本部 寺井 大貴
西春日井広域事務組合消防本部 倉見 純也
鈴鹿市消防本部 倉見 純也
鈴鹿市消防本部 鈴川 恭佑
- 【東近畿】**
座間市消防本部 本多 峻祐
浜松市消防局 鶴飼 航希
宇都宮市消防局 山城 大樹
旭市消防本部 江波戸 秀幸
前橋市消防局 赤石 富夢

ロープ応用登はん（連携訓練）



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一メートル登はんする。
【標準所要時間一六秒】

表彰者

北海道

北留萌消防組合消防本部

とかち広域消防局

東北

北上地区消防組合消防本部

仙台市消防局

郡山地方広域消防組合消防本部

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

魚沼市消防本部

五所川原地区消防事務組合消防本部

上山市消防本部

本間 勝久

齊藤 昂亮

片寄 貴之

熊谷 凌

佐々木良多

関東

高崎市等広域消防局

志太広域事務組合志太消防本部

諏訪広域消防本部

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

大洗町消防本部

草加八潮消防局

厚木市消防本部

小山市消防本部

東京消防庁

甲府地区広域行政事務組合消防本部

東海

桑名市消防本部

中津川市消防本部

稲沢市消防本部

宇治市消防本部

大津市消防局

有田川町消防本部

嶺北消防組合消防本部

奥能登広域圏事務組合消防本部

砺波地域消防組合消防本部

奈良県広域消防組合消防本部

上村 哲也

永井 健

鴨川 大輝

仲谷 彬紹

近畿

堺市消防局

北はりま消防本部

松江市消防本部

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

光地区消防組合消防本部

東広島市消防局

新見市消防本部

四国

松山市消防局

鳴門市消防本部

今治市消防本部

善通寺市消防本部

九州

佐世保市消防局

宇佐市消防本部

指宿南九州消防組合消防本部

伊万里・有田消防本部

宇城広域連合消防本部

桑島 充史

真野 真一

宇仁 真一

吉岡 大輔

水口 剛志

碓氷 剛志

土田 剛志

重岡 孝典

一倉 大輝

坪島 拓実

佐藤 直喜

大澤 和弥

日傳 逸平

加地 龍蔵

畑中 伸介

住谷慎太郎

井上 裕将

白石 裕将

長橋 秀和

諏訪 智彦

宮武 秀幸

山口 大地

赤木 駿介

竹田津進吉

大隈 克明

平山 大生

ほくく救出（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で、一人が空呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
【標準所要時間一分二秒】

表彰者

北海道

登別市消防本部

早瀬 亮太

佐々木 一貴

大村 卓也

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

小松田知至

高橋 明士

盛岡地区広域消防組合消防本部 大竹 勇樹	津山圏域消防組合消防本部 山本 達朗	〔中国〕	白井 尚貴	小保 翔太	久保 拓実	吉村 啓太	大本 啓大	新畑 貴一	國濱 啓一	渡邊 啓一	山内 仲昭	深水 章生	片岡 満暢	嶺北広域行政事務組合消防本部 西峰 慧	松本 健也	和田 圭史	川真田 史	妹尾 晃樹	須賀 謙行	白川 貴也	大谷 啓剛	川原 大誠	〔九州〕	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部 城山 睦	吉田 公介	黒岩 義弘	百田 浩平	遠藤 優希	石松 良孝	久保 剛	森山 薫	柳本 元氣	宮崎 将将	甲斐 将人	別府市消防本部 山本 貴大	柳井地区広域消防本部 柳井 尚貴	大竹市消防本部 白井 尚貴	〔四国〕	松山市消防局 山内 仲昭	徳島中央広域連合消防本部 松本 健也	徳島中央広域連合消防本部 和田 圭史	徳島中央広域連合消防本部 川真田 史	徳島中央広域連合消防本部 妹尾 晃樹	三観広域行政組合消防本部 白川 貴也	三観広域行政組合消防本部 大谷 啓剛	〔東海〕	四日市市消防本部 福田 勇心	萩原 幸輝	鈴木 誉大	面手 友樹	高野 晶	長屋 勇徹	森本 祐一	山口 兼人	松村 昂	大府市消防本部 宗像地区消防本部 宗像 浩平	平戸市消防本部 平戸 悠貴	〔東近畿〕	高岡市消防本部 澤田 貴仁	大根 悟仁	山崎 悟仁	奥能登広域圏事務組合消防本部 竹原 拓馬	小路 拓龍	北野 翔	〔近畿〕	神戸市消防局 庄司 一貴	中田 考次	辻 岳史	村上 康徳	島尾 賢	戸田 拓海	〔関東〕	三郷市消防本部 添田 健一	遠藤 翔太	濱島 武士	石原 潤一	山田 喜起	伊藤 新太郎	佐藤 翔太	三ツ井 嘉孝	木村 政嗣	村松 晋伍	佐野 心哉	久保 隆	保坂 由崇	久保 心哉	佐藤 由崇	根岸 大輝	小池 貴史	久保田 啓介	利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防本部 新井 義幸	木内 悠太	井上 将大	大嶋 将義	鈴木 一馬	浅井 祐二	岩佐 健吾	和泉 徹也	比古 咲季	豊平 慶彦	洲崎 秀成	岡村 大介	島田 裕太	島田 大介	多木 佑紀	多木 佑紀	清水 貴史	松本 拓也	前田 真悟	山内 勇気	山本 浩史	辻 竜汰	木下 幸三	池田 悟志
-------------------------	-----------------------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	----------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	------------------	---------------------	------------------	------	-----------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------	-------------------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	------------------------------	------------------	-------	------------------	-------	-------	-------------------------	-------	------	------	-----------------	-------	------	-------	------	-------	------	------------------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------

〔東北〕
南魚沼市消防本部
今井 翔太
山崎 友輔
南雲 悠貴
山田 悠貴

〔関東〕
横浜市消防局
平本 健太
藤本 健太
宮下 健太
村上 健太
仲間 健太
田中 順平

東京消防庁



ロープブリッジ救出（連携訓練）

表彰者

【標準所要時間一分一五秒】

四人一組（要救助者を含む）で、二人が水平に展開された渡過ロープ（二〇メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出しロープに吊り下げ、けん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

三郷市消防本部 添田 健一	遠藤 翔太	濱島 武士	石原 潤一	山田 喜起	伊藤 新太郎	佐藤 翔太	三ツ井 嘉孝	木村 政嗣	村松 晋伍	佐野 心哉	久保 隆	保坂 由崇	久保 心哉	佐藤 由崇	根岸 大輝	小池 貴史	久保田 啓介	利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防本部 新井 義幸	木内 悠太	井上 将大	大嶋 将義	鈴木 一馬	浅井 祐二	岩佐 健吾	和泉 徹也	比古 咲季	豊平 慶彦	洲崎 秀成	岡村 大介	島田 裕太	島田 大介	多木 佑紀	多木 佑紀	清水 貴史	松本 拓也	前田 真悟	山内 勇気	山本 浩史	辻 竜汰	木下 幸三	池田 悟志
------------------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------

【四国】伊予消防等事務組合消防本部

奥田 祐輔
坂口 周平

【中国】備北地区消防組合消防本部

塚原 庸介
高木 陽介
柚木 和裕
坂田 慎悟

引揚救助（連携訓練）



五人一組（要救助者を含む）で、二人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。

【標準所要時間二分九秒】

表彰者

【北海道】北見地区消防組合消防本部

下崎 航
古賀貴理偉

高野 寿文
堀畑 涼介

越地 修平

【関東】伊勢原市消防本部

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

鈴木 洸一
高梨 大洋
三浦 伊織

長野市消防局

横浜市消防局

綾瀬市消防本部

【東海】岡崎市消防本部

【東近畿】京都市消防局

湖南広域消防局

【近畿】大阪市消防局

牧 総一
鈴木 洸一
高梨 大洋
三浦 伊織
野口 亮介
中村 翔平
吉田 勇介
宮本 直樹
菅原 弘幸
宮澤 泰樹
小堀 雄大
堀内 達郎
湯澤 友規
小川 陽介
小川 直哉
早川 大貴
渡辺 謙司
伊藤 正人
森野 亮二
榊野 信之
大江 天旭
江口 健俊
賀澤 俊太郎
松尾 健太郎

堺市消防局

【四国】松山市消防局

【九州】大分市消防局

糸島市消防本部

橋本 良平
松崎 翔平
加藤 洋平
西野 亮太
松岡 祐太
神田 優作
嶋田 直紀
日野 孔太
橋川 純平
田中 恭平
佐藤 聡博
麻生 一平
安部 隆一
早川 剛
橋本 達也
鬼尾 伸一
緒方 剛兵
中山 賢兵
谷本 剛平
松藤 涼平

障害突破（連携訓練）



五人一組（補助者を含む）で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

【標準所要時間一分三七秒】

表彰者

【北海道】札幌市消防局

【東北】八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

【関東】平塚市消防本部

那珂市消防本部

流山市消防本部

桐生市消防本部

さいたま市消防局

川崎市消防局

川越地区消防局

森 和也
伊藤 淳哉
本木 敬也
岩田 幸大
外崎 祐至
吉田 航太
坂本 航太
澁谷 宏
秋山 将倫
岩澤 晃一
相原 良太
村田 寛太
村田 敬輔
齋藤 康之
鹿島 裕太
竹之内 政彰
石井 康之
森戸 康之
海老根 誠
新江 友和
知久 隼人
菅部 裕樹
安部 雄一
熊谷 龍之介
大崎 洋平
川岸 航大
進藤 友亮
松井 拓也
堀越 恵一
齋藤 友善
津守 勇平
堂本 大貴
加藤 雄貴
生方 博
野口 樹博
野田 真樹
川村 真樹
平岩 真樹
川村 真樹
廣田 真樹
秋谷 真樹
嶋村 真樹

【東海】
岐阜市消防本部

名古屋市消防局

【東近畿】
大津市消防局

和歌山市消防局

【近畿】
堺市消防局

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

【中国】
岡山市消防局

【九州】
佐賀広域消防局

植田和孝 川原幸輝 森田剛 今田健介 宮崎洋平 多田裕貴 村中伸光 西山孝浩 中村亮 関村勇佑 松井数磨 村木康幸 松谷潤 藤畠恵一 安本泰士 河原吉秀 村井良太 高原裕太 松本渉 早田圭 梶原隆宏 今西悠人 梶本敦司 朝野秋平 奥野健志 小島隆志 三間大介 櫻井惣介 山田幹也 須川寛太 日下部慎 坂野洋友 石塚伸弥 手塚康弘 鷺見拓也 服部貴文 杉野将太 永田匠 吉永新 山上智史 鶴島宏治 日下部秀樹

水上の部



基本泳法（基礎訓練）

大隅肝属地区消防組合消防本部 南島 中村 肇亮
村田電太郎
米永勇貴
榎本亮
中村春榮
毛下寿史

表彰者

「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。
水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間四〇秒】

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 老久保亮太
仙台市消防局 福田昇



複合検索（基礎訓練）

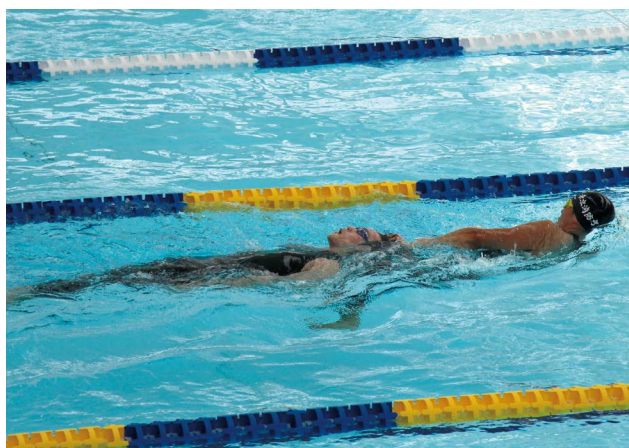
いわき市消防本部 吉田 昌貴
【関東】
宇都宮市消防局 増淵 尋紀
足利市消防本部 齋藤 優太
静岡市消防局 杉山 哲弘
藤沢市消防局 林 紘平
松戸市消防局 大川 一成
【東海】
岐阜市消防本部 岩倉 庸介
豊明市消防本部 阪倉 宗久
高岡市消防本部 稲田 一貴
和歌山市消防局 丸田 龍
京都市消防局 門前 光治
【近畿】
大阪市消防局 難波 拓人
大津市消防局 緒方 義昌
【中国】
松山市消防局 森本 瑞樹
倉敷市消防局 寺坂 翔平
津山圏域消防組合消防本部
【九州】
杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 池田 智樹
宇城広域連合消防本部 紫垣 政和
島尻消防、清掃組合消防本部 知念 優仁

表彰者

マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の検索を想定した訓練。
【標準所要時間四〇秒】

【関東】
東京消防庁 二葉慎太郎
川崎市消防局 尾口 冬樹
浜松市消防局 宮本 直也
草加八潮消防局 増山 淳也
横須賀市消防局 大越 一樹
駿東伊豆消防本部 原 北斗
藤沢市消防局 武土 壮磨
【東海】
小牧市消防本部 伊藤 勇介
名古屋消防局 河江 翔平
【東近畿】
東近江行政組合消防本部 井口 健吾
京都市消防局 福井 達也
【近畿】
大阪市消防局 榎本 竜也
【中国】
東温市消防本部 戒能 智成
小松島市消防本部 松二 直人
【九州】
岡山市消防局 藪木 慎二
霧島市消防局 内村 晃浩
天草広域連合消防本部 益田 大成

溺者搬送（連携訓練）



二人一組（要救助者を含む）で、救助者が「じゅんが飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンブールで確保した後、ヘアークャリーにより救助する。

【標準所要時間四二秒】

表彰者

〔東北〕
仙台市消防局

柏崎市消防本部

〔関東〕
東京消防庁

草加八潮消防局

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大島 勇志 | 八巻 直也 | 深田 悠斗 | 大滝雄一郎 | 朝日 暢 | 堀田 洋平 | 山田 一貴 | 望月 僚将 | 三木 翔平 | 小里 純哉 |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|

静岡市消防局

〔東海〕
小牧市消防本部

名古屋消防局

〔東近畿〕
白山市消防本部

〔近畿〕
神戸市消防局

〔中国〕
岡山市消防局

〔四国〕
上島町消防本部

〔九州〕
佐賀広域消防局

八代広域行政事務組合消防本部

人命救助（連携訓練）



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 齊藤 傑 | 村松 郁哉 | 稲葉 智文 | 長谷川直也 | 松波 雄太 | 山田 章貴 | 太田 理博 | 松田 剛 | 石丸 亮介 | 津田 智哉 | 濱田 佑樹 | 古川 善崇 | 穂積 雅晴 | 池上 幸大 | 高祖 裕介 | 森山 恭輔 | 白川 湧大 | 吉野 悠 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|

三人一組（要救助者を含む）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間一分二三秒】

表彰者

〔東北〕
新潟市消防局

〔関東〕
東京消防庁

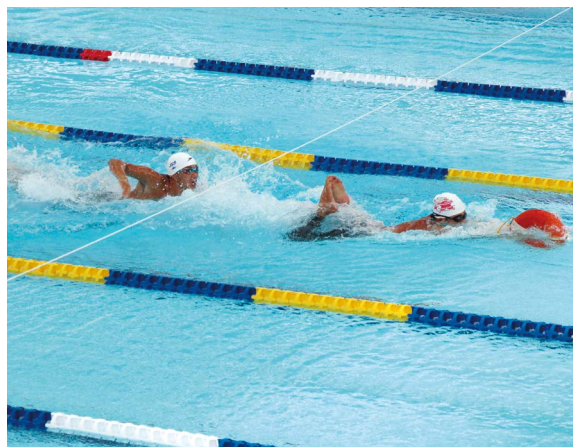
〔東海〕
名古屋市消防局

〔東近畿〕
和歌山市消防局

〔四国〕
高幡消防組合消防本部

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田澤 奨也 | 加藤 慶大 | 水口 元氣 | 齋藤 勇人 | 神園 直昌 | 亀崎 雄太 | 福田 翔太 | 小林 俊之 | 津田 拓磨 | 小西 晋一 | 原田 康弘 | 大井 康弘 | 丸田 龍 | 田畑 雄一 | 中西 雄一 | 竹内 貴大 | 藤崎 大地 | 浅岡 典彦 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|

溺者救助（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間四二秒】

表彰者

〔東北〕
新潟市消防局

塩釜地区消防事務組合消防本部

〔関東〕
川崎市消防局

茅ヶ崎市消防本部

- | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 田澤 奨也 | 加藤 慶大 | 水口 元氣 | 佐藤 大樹 | 引地 敏生 | 鈴木 佑一 | 安江 弘樹 | 高坂 武之 | 平山 龍太郎 | 末角 優輝 | 杉崎 恭介 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|



水中結索（連携訓練）

【東海】
田原市消防本部

【東近畿】
白山市野々市広域消防本部

【四国】
大洲地区広域消防事務組合消防本部

徳島市消防局

【九州】
鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

内山 佳明
齊藤 建
平井 陽一
柴田 雅也
太田 理博
川岸 友博
坂本 隆太
宮下 滉平
山口 友輔
萩森 祥葵
森本 真也
遠藤 博信
中嶋 佑介
橋口 翔一
樫迫 千弦
高橋 大昇

三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種の結びを習得するための訓練。
【標準所要時間 一分四六秒】

表彰者

【東北】
仙台市消防局

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

【関東】
東京消防庁

川崎市消防局

【東海】
名古屋消防局

【東近畿】
京都市消防局

【中国】
鳥取県東部広域行政管理組合消防局

【四国】
松山市消防局

荒木 祐太郎
武田 雄貴
木村 隼
老久保 亮太
菊池 大典
相坂 正浩
石井 誠司
北島 滉太
田口 恭平
野沢 義弘
伊藤 翔輝
朝日 昭翔
西條 友昭
岡田 大樹
岸田 直樹
若木 昌弘
吉田 章浩
山田 淳
中畑 章
古川 凱風
森 優人
星野 雄亮
上田 広大
中川 周磨
井上 康範
石岡 孝啓
谷間 大介
氏間 大介

三観広域行政組合消防本部
細川 剛士
多喜端 大貴
鈴木 雄介
【九州】
杵藤地区広域市町村圏組合消防本部
宮崎 貴士
松永 健太郎
山口 洋平

【関東】
水俣市北広域行政事務組合消防本部

松本 祐真
菊川 浩平
森本 紘史

水中検索救助（連携訓練）



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間 一分四二秒】

表彰者

【東北】
仙台市消防局

【関東】
川崎市消防局

静岡市消防局

【東海】
大垣消防組合消防本部

【中国】
松江市消防本部

【四国】
美馬西部消防組合消防本部

高知市消防局

福田 昇
村上 芳行
木元 千寛
齋藤 直也
出木 啓太
宮本 直也
村上 剛
村上 史
杉山 哲弘
太田 元
山本 啓太
高村 知美
金森 友亮
鈴木 結
水谷 隆宏
小島 友典
高橋 啓太
吉田 悠太
勝内 章
竹内 章
飯塚 陽和
谷 陽一
黒長 一輝
逢坂 尊之
菅野 修二
國久 淳平
濱田 尚弘
野町 尚弘



技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

陸上の部

愛媛県
松山市消防局

- 消防司令補 乗松 敏泰
- 消防士長 八木 大五郎
- 消防副士長 森本 大樹
- 消防副士長 浅海 敬太
- 消防副士長 岡田 勢一
- 消防副士長 松本 龍祐

(想定内容)
想定は、工場内の地下ピットにおいて化学物質が漏えいし、点検中の作業員一名が取り残されているもので、進入・救出の有効な経路はなく、上方には支点となり得る強固な支持物はない状況とします。



- 「平成二五年度消防・救助技術の高度化等検討会報告書」を踏まえ、特殊環境下におけるレベルA防護措置での低所救助活動を実施します。
- 訓練実施時の着目点は次のとおりです。
- ① 化学防護服専用安全帯を使用することによる、活動性の向上。
 - ② 低所進入し活動する隊員と、活動指揮者との連絡手段を複数構築することによる安全性の確保。
 - ③ 進入隊員に異常があった場合、より安全・確実・迅速に上部へ引き揚げるために設定する複数システム。

大分県
大分市消防局

- 消防士長 田中 祥成
- 消防副士長 江本 恭平
- 消防副士長 原 貴宏
- 消防士 山内 崇広
- 消防士 清水 琢朗
- 消防司令 荒巻健太郎

(想定内容)
想定は、「港の岸壁に係留された鉱石運搬船の貨物庫内で、作業員一名が酸素欠乏により取り残された現場」とし

水上の部

広島県
呉市消防局

- 消防司令補 梅本 悟
- 消防士長 横藤 田 亨
- 消防士長 平若 弘次
- 消防士長 島田 和幸
- 消防士長 木下 昭光
- 消防士長 細川 昌浩
- 消防士長 佐藤 香美
- 消防士 大下 圭佑
- 消防士 池田 匡志
- 消防士 田中 良太
- 消防士 赤瀬 弘一

ます。

シットハーネスを着装した救助隊員二名が低所進入し、足場が軟弱な現場でいかに隊員の負担を減らし、要救助者を安全・確実・迅速に救出できるかをテーマに訓練を実施します。

なお、本訓練は次の点を考慮し考案しました。

- 一点目は、救助システムはシンプルなものとし、スピーディーな要救助者の救出を実施する。
- 二点目は、当局が保有する資器材のみを使用し、現実的な手法とする。
- 三点目は、縦方向のみでなく、横方向にも倍力システムを導入し、進入隊員の負担軽減を図り安全性をより高める。

(想定内容)

想定は、船舶の転覆事故が発生し、船体につかまっていた要救助者が一名、船内エアポケットに取り残されている要救助者が一名がいる状況で、船内への進入口は、水深5mの位置にある開口部一ヶ所のみとします。

活動は、現場到着直後の方針を「第一進入方式」と決定し、第一進入隊員は、「緊急ロープバック」を使用し、「PFD」を着装した隊員のライフセイブリンクテクニクにより、船につかまっていた要救助者一名を救出します。

次に、船内エアポケットに要救助者



がもう一名いるとの追加情報により、「中性浮力」を身につけた潜水隊員三名が、開口部から船内エアポケットへ進入し、バディブリーディングを行いながら二人目の要救助者を救出します。

(用語の説明)

- ・第一進入方式：最初に救出活動を行う進入隊員を、予め二名から三名指名しておく方式で、特別な訓練を受けた第一進入隊員は、現場到着後、直ちに進入準備を行うことができる利点を有しています。
- ・緊急ロープバック：シオルダーバックに、二五メートルロープ、テープスリング、カラビナ及びエイト環を入れておくもので、あらゆる災害において第一進入隊員が携行します。
- ・二五メートルロープは、救出ロープや確保ロープとして活用します。
- ・PFD：活動性に優れた作業用の特殊ライフジャケットです。
- ・中性浮力：肺に入れる空気量を調節することで水中を自由に上下する技術のこと。呉市沿岸の海底は、ヘッド口地帯が多く、海底に手を触れたり、強くフィンをかくことで、視界を失われることから、呉海上保安部潜水士（海猿）との合同訓練を繰り返すことにより習得した技術です。

放水体験

本物のポンプ車から延びるホースで放水開始！ずっしりとした本物の重さに、やや緊張気味の子も。りょうと君4歳は、燃え上がる炎にしっかりと狙いを定め、消火活動を完了！感想を聞くと、「簡単だったよ！」と頼もしい一言をいただきました。



最新消防車両試乗

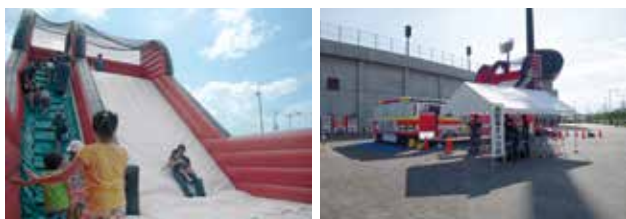
消火、救助、資機材収納という様々な役割を果たす最新消防車両。ビルの5階相当の高さ13.7mに届くブームに取り付けたバスケットへの先端搭乗体験。お父さんと一緒に「さあ、いくぞー！」「高い所も怖くないぞ！」2歳のこう君でした。



消防車滑り台

消防車の形をした大きなふわふわ滑り台を滑って、緊急出動！

小さなお子様も消防のお兄さんに抱っこされ、楽しく滑っていました。何度も滑ってご満悦でした。



キッズレスキュー

レスキュー隊員になって、ロープ渡りや高い場所からロープで緊急脱出！！

4歳の女の子の力強いロープ渡りに、屈強な消防隊員もびっくり！感想は？と聞くと「楽しかった」と一言。



地震体験コーナー

地震に対する関心が高いためか、子どもから大人まで多くの方が、震度7の揺れや熊本地震の揺れを再現した地震を体験することができた。起震車に長蛇の列を作っていました。

最初は余裕の参加者も、強い揺れが起きると必死に机にしがみつき、職員から地震発生時の注意事項に真剣に耳をかたむけていました。



ミニ消防車試乗

ミニ消防車やミニ救急車のバッテリーカーに乗って「いざ、出動！」

会場に設けられた専用コースを上手に走行していました。(写真：右)

気分はポンプ車機関員！サイレンのスイッチを入れると、本物のサイレンの音が!?来場者の方もリアルな音にびっくりしていました。(写真：左)



消防車両展示

はしご車や救急車、特殊車両などが大集合。当日は、天気にも恵まれ、多くの家族づれで賑わい、子供たちは、お気に入りの車両に乗り込みご満悦。お父さん、お母さんは子供の勇姿をカメラに収めていました。



降雨体験

ゲリラ豪雨を再現できる降雨再現装置「大粒くん 小粒ちゃん」で大粒の恐ろしさを学ぶコーナー。最大で180mmの日本の雨を体験！！

水滴で前が見えず、息もつけないような状況を再現し、近年頻発する豪雨災害の恐ろしさの一端を体感していただきました。体験を通じ、警報が発令された場合の心構えや土砂災害危険区域に近づかないこと、さらに、避難勧告が発令された場合の対応について考えるきっかけに役立っていただきました。



第45回
全国消防救助技術大会
〜市民インタビュー〜

高橋さんご家族・佐藤さんご家族

●今日は、婚約者が大会に出場するので、両家で応援に来ました。

●四国ではじめての大会と聞きました。

●松山はスタッフの方々やお客さんみんながとても親切で暖かい雰囲気良かったです。

●実際の訓練を見られる機会は少ないので、こうやって隊員の方々の技術を目の当たりにすると改めてすごいと感じました。

●救助訓練での姿はとても格好良かったです。それは日々のひたむきな努力があるからなのだと思います。訓練はとても大変だと思いますが、これからも体に気をつけて頑張ってください!!



鶏飼さん姉妹

●今日は、兄が大会に出場するので、姉妹で応援に来ました。

●訓練はとても大変だと思いますが、兄は毎日、どんなに疲れて帰ってきてても道具の手入れを怠らず、次の訓練に備えています。その姿はとても格好良く見えると共に、消防の仕事の大変さを実感するものでした。

●兄の日々の努力が、全国大会出場という形になったので、とても嬉しく大変誇らしく感じています。家族全員で応援しています。

●兄だけでなく、消防職員のみなさんはこれからも日々の訓練に努めていただき、市民のために頑張っていたくださいと思います。



池田さん・杉本さん

●今日は、知人が大会に出場するので、友人と応援に来ました。

●昨年の神戸大会も応援に行きましたが、いつ見ても隊員の方々の技術に圧倒されます。特にスピードの速さにはびっくりしました。

松山での大会は、お客さんも多くとても活気にあふれていると思います。大会以外でも道後温泉や松山城など観光が楽しめるのもうれしいです。

●私は消防士になって救急救命士として活動したいと思っています。いつか消防士の皆さんと一緒に働けるようになります。



松本さん・武田さん・山本さん

●私たちは、地元消防本部の方の紹介でイベントがあることを知り見に来ました。

●地区指導会も見に行きました。全国大会は各地域の代表選手が出場していても迫力があり圧倒されました。

●訓練されている隊員の方々は格好良かったです。隊員同士の連携がとてもよくとれているところはすごいと感じました。

●私たちは将来医療の仕事に就いて困っている人の力になりたいと思っていますので、消防士の皆さんと協力してみんなの力になりたいと思います。

長谷川さんご家族・河上さんご家族

●今日は、保育園でチラシをもらったのでイベントがあることを知り、見に来ました。

●普段訓練の光景を見ることがないのでとても迫力を感じました。また、市民広場でもイベントがたくさんあってとても面白かったです。

●私たちの地元は四国なのですが、こうやって全国大会が四国で開催されて、全国から人が集まってくることはうれしいと思います。

●消防士の皆さんはいつ起きるかかわからない災害のためにいつも備えてくれていて、ありがたいと思います。怪我のないようにこれからも頑張ってください。





開会式の前、陸上会場において、愛媛県を中心にミュージカル公演を行っている坊っちゃん劇場劇団員15名によるパフォーマンスが行われました。

開始と同時に音楽とともに登場した劇団員は、四国遍路をテーマに大きな歌声とダンスを披露しながら、会場全体を軽快に動きまわり大会を一気に盛り上げました。

リーダーの近藤誠二さんは、「救助隊員を見て身震いした。来場者の皆さんに、松山市のおもてなし文化を持ち帰ってほしい。」とお話してくださいました。

「坊っちゃん劇場」



開会式の後、救助隊員の緊張が高まるなか、陸上会場においてEXILE PROFESSIONAL GYM松山校の38名によるキラのある軽快なダンスが披露されました。

会場はリズムにあわせて手拍子が行われ大きな声援が沸くと同時に、出場する救助隊員の緊張をほぐしました。

ダンサーの藤原美咲さんは、「緊張したが、全国の皆様に見ていただけて良い経験になった。」とお話してくださいました。

「EXILE PROFESSIONAL GYM松山校」



ハーフタイムショーとして、水上会場において、松山市消防団女性分団10名による「水軍太鼓」が披露されました。

昼食時に一旦静かになった水上会場に勇壮な太鼓の音が鳴り響き、来場者を圧倒しました。

リーダーの藤岡里美さんは、「全国の消防を応援する気持ちで演奏した。」とお話してくださいました。

「水軍太鼓」



閉会式の前には、競技が終わり安堵感に包まれた空気の中、陸上会場において、松山市消防団音楽隊と松山中央高等学校吹奏楽部総勢100名による合同演奏が行われました。

総勢100名の演奏は、会場上空の曇り空を一気に吹き飛ばす迫力のあるものとなりました。

松山市消防団音楽隊の長野真依さんは、「隊員の皆様に音楽を楽しんでいただければうれしい。」とお話してくださいました。また、松山中央高等学校吹奏楽部の古谷愛さんは、「少し緊張したけど、少しでも選手の応援になればと思って演奏した。」とお話してくださいました。

「松山市消防団音楽隊・松山中央高等学校吹奏楽部」



AR動画配信サービスのご案内

スマートフォン、タブレットで動画を見ることができます。

ARアプリを使用して動画を見る方法は下記を参照してください。

無料ARアプリCOCOAR2のダウンロードはこちら♪

iOS版
ダウンロード



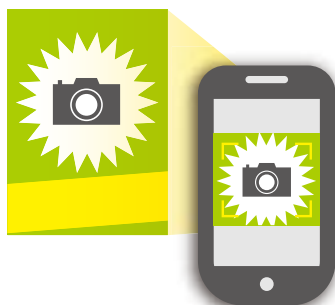
Android版
ダウンロード



1 アプリを
ダウンロードする！



2 アプリを起動し
マーカ―*をかざす！



3 動画や音楽などが
自動再生される！



※マーカ―画像：スマートフォンやタブレットのカメラで読み込む画像です。
●「COCOAR2」のご使用はWi-Fi、またはLTE環境を推奨しています。
●回線混雑状況等により画像の認識や動画再生が遅くなる場合があります。

AR (拡張現実) とは…

ARとは、マーカ―をスマートフォンやタブレットをかざすと動画や音楽などが自動再生されます。



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険 (生命保険)

消防職員医療保険 (損害保険)

消防職員傷害保険 (損害保険)

消防職員賠償責任保険 (損害保険)

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。
消防職員とそこそご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用下さい！

お問い合わせは ☎ 0120-119-147 (生命保険) ☎ 0120-065-988 (損害保険)

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

大会ダイジェスト

